

京都二条界限散策～ぶらあり探訪

紅葉を愛でるには少し遅い季節ではありましたが、お天気に恵まれた中、二条界限を散策してきました。

まずは関西建築界の父武田五一氏と中野進一氏の共同設計である京都市庁舎からスタート。日曜日とあって中の見学は断念していたものの外観は拝めるであろうと下調べをせずに訪れたところ、本庁舎耐震化等改修工事の為その姿のほとんどを仮囲いに覆われていました。2022年竣工予定とのこと。市庁舎前にはポケモンGO目当ての人々が多数見受けられました。次の目的地*1「島津製作所創業記念館」までは同じく武田五一設計の*2旧島津製作所本社や桂小五郎の銅像を眺めながらぶらりと移動。旧島津製作所の本社はウェディングレストランへと改装されています。

*1「島津製作所創業記念館」外観



創業100周年を記念して、創業初期に島津の住居・研究所として使われていた建物を1975年に記念館として開設（国の登録有形文化財）したものです。外観は島津の家紋を基礎などでデザインしたりステンドグラスに日本という文字を仕組んだりとかなり*3ディテールにこだわりの見られます。内部では島津製作所の今日までの歴史の説明を聞くことができます

記念館を振り返ると向かいには今回のツアー企画の発端となった、がんこお屋敷店シリーズのひとつ「高瀬川二条苑」がありこちらで昼食をとりました。

*2「旧島津製作所本社」



*3「島津製作所創業記念館ディテール」



高瀬川を開削した豪商角倉了以の別邸跡を利用したもので小堀遠州作の茶庭や*4高瀬川の源流が現存します。日曜日とあってかなりの観光客で賑わっていました。

昼食後、法華宗大本山の本能寺へと移動・参拝。しかしここは彼の有名な「本能寺の変」が実際に起きた場所ではありません。天正19年（1591）豊臣秀吉の命にて現在の位置へと移転されました。実際の事変の本能寺は今は石碑のみが建っています。

次の目的地の「京都生活工芸館・無名舎吉田家」は六角町にあるため少し距離があります。二条を離れ六角町まで三条通りをとおり*5古民家や洋館を再生したショップなどを見学。そぞろ歩きながら京都は実に再生事業が大胆でセンス良くなされているという感想を持ちました。

さて目的地である吉田家は呉服問屋街「室町」で白生地問屋を商った京商屋であり佇まいは典型的な表屋造り。店舗、住居、土蔵とそれらを結ぶ2つの庭と通り庭から成っています。数々の生活工芸品（江戸時代の小袖等）を自由に見ることができ、江戸からの京商人の生活文化を偲ぶことができます。中でも歴史のあるお仏壇が細工も細かく大変立派で厳かな雰囲気を出しています。所有者のご主人は質問すると丁寧に説明して下さいますので、興味のある方は自ら進んで質問してみてください。

「ここ最近建築界で何かあるんですか？」と逆に聞かれたほど方々の建築士会や関係者の見学が増えているそうです。

計画していたひとつとりの見学先を終了して、最後に最近話題にのぼっていた餃子のOHSHO烏丸御池店へ打ち上げをかねて立ち寄りしました。こちらは王将グループが若い女性向けにと出店したカフェレストランのような店舗です。意外にも若い男性グループも空き待ちの列の中に見受けられました。郡山支部では今後もぶらあり探訪を計画していきたいと思っております。

*4 二条苑内の高瀬川源流



*5 古民家を再生したメンズ衣料店

